

礼拝メッセージ (8月12日)

『2つの道』～あなたはどこを歩んでいますか?～

【マタイ 7:13～21】

あなたは今、歩むべき道を歩んでいますか?あなたの道はどのようなイメージですか?ゆるやかですか?それとも険しいですか?聖書では「道」というのを大切にします。「道」は歴史を意味します。私たちは日々歴史を残しており、イエス・キリストが創られた道(歴史)を書き加えているのです。私たちクリスチャンがどのような道を書き加えるのか。イエス様の十字架を無駄にしない為にも私たちがどこを歩んでいるかは、大切な事です。私たちはいつも歩むべき道を選択しながら歩んでいます。そして私たちの道の先にはイエス様がおり、そこには希望があります。しかし、神様を信じていると言っても信じきれていなかったり、不信仰のまま道を選択しているとしたら、その誤って選んだ道を神様は祝福できるでしょうか?イエス様は私たちに「狭い門から入りなさい。」(マタイ 7:13)と語っておられます。ですがあなたが、その声を無視し自分の都合や自分よがりの思いで正しい道を選択しなかったのなら、それも神様が祝福して下さるなんて都合のいい事を思うのは止めて下さい。(ヘブル 3:7～11)では、先の見えない道を私たちはどのように選択して行けばよいのでしょうか。①**あなたの道が本当に正しいか日々確かめる。**(詩篇 25:4～12)ダビデはいつも悔い改める祈りを通して自分の道が正しいのか確かめていました。ぜひ、あなたの道が正しいか探して下さい。そこで違う道を選んだ事に気づいたら、すぐに悔い改めて戻して下さい。間違っただ道を神様は祝福する事ができません。②**主をおそれる。**(詩篇 25:12)道を誤っているのなら、自分の為だけではなく周りの人の為にも悔い改めて戻らなくてはなりません。あなたが迷うとあなたを通して幸せになるはずの人が皆迷ってしまうからです。主をおそれる者には正しい道が示されます。③**道はずしたらすぐに正しい道を探す。**(ヘブル 12:19～13)神様は正しい道を用意されていますが、間違っただ道を選択したのなら自分で戻りなさいと言われていきます。(ヘブル 12:12)自分で正しい道に戻らなければ悪魔は色々な方法を使ってワナを仕掛けてきます。懲らしめは後になると平安な義の実を結ばせるとありますが(ヘブル 12:11)いつまでも懲らしめの中にいると疲れてしまいます。そこから早く抜け出すか、そうではないのかはあなた次第です。罪は悔い改めれば100%赦されるのです。この3つの事は私たちにとってとても大切な事です。これから私たちがそれぞれの道を歩んで行く時、いつもこの3つの事を心に留め実行する事ができれば、道の先には必ず希望が待っています。